

各部説明資料

(1) 総務部

ア 本大会における諸施設の設置場所は会場案内図の通りです。

イ センターの開場・閉場の時間は次の通りです。

○会期前々日：9月30日（月）13:00～16:00 ボールバックの到着確認のみ可。

（※輸送会社の状況により誤差が生じる可能性があります。また、9月30日の駐車場開放ございませんので、公共交通機関でお越しください）

○会期前日：10月1日（火）12:00開場（少年監督会議13:00～別会場）

○第1日目：10月2日（水）7:00開場

○第2日目：10月3日（木）7:15開場（成年監督会議14:50～別会場）

○第3日目：10月4日（金）6:30開場

○第4日目：10月5日（土）6:45開場

○第5日目：10月6日（日）6:30開場

○第6日目：10月7日（月）7:00開場

○閉場は各日競技終了30分後とします。

※競技会場・ボール保管所ではIDカードによるセキュリティチェックが行われます。

競技会場へ入退館の際は、必ずIDカードをご携帯願います。

ウ 大会中は緊急の場合を除き、個人の呼び出しはお断りします。

エ 選手の健康管理には十分注意してください。万一、会場内で事故や急病人が発生した場合には、まず係員に伝え救護所に行き、その後、競技本部まで連絡してください。

オ 監督会議場敷地内、競技場内は全て禁煙です。喫煙は所定場所をお願いします。

カ 所持品や貴重品は各自で責任をもって管理してください。盗難等のトラブルが発生しても、一切責任を負いません。

キ 大会中の使用ボールの破損については、一切責任を負いません。

ク 大会中は会場内が混雑しますので、コンコースの指定された場所以外にはボールやバッグ等を置かないでください。競技終了後は必ずボール置場に移動してください。

ケ ボウラズエリア内へのボールの持ち込みは、1人4個までに制限致します。また、ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。

コ 縦置き可能なボールバッグは、必ず縦置きで保管してください。

サ 次シフト選手待機所にボールバッグを置くことができるのは、競技中のゲームが3ゲームに入ってからとします。前シフトの選手がすべてボウラズエリアから退場したのち、次シフトの選手入場を案内しますので、待機所で待機してください。

シ ペットボトル、フィンガーテープや剥離剤等は、各自で処分してください。場内の美化とゴミの分別収集にご協力ください。

ス 競技会場敷地内及びその付帯施設、監督会議場敷地内におけるコンセント及びその電力の使用は認められません。

セ 発送宅配便はヤマト運輸のみ取り扱いとなります。

宅配便の受付は、10月3日及び10月7日のみボウリング駐車場内テントにて次の日時で行います。

- ヤマト運輸：午前の部9:00～12:00・午後の部15:00～17:00
到着日指定のあるものに関しては、できる限り受付を早くお済ませください。
また、受付時間が遅くなりますと、翌日受付として処理されます。

(2) 競技部

ア プログラムのチーム名・登録選手名に誤字・脱字等の間違いがありましたら、競技本部まで申し出ください。

イ 参加申し込み締切り後の選手変更は、「第74回国民体育大会ボウリング実施要綱」に定める通り各種別1名に限り認めるものとし、監督会議開催前までに各連盟会長および各都道府県体育協会の承認を得て、所定の変更届の提出が必要となります。それ以外の変更は認めません。

ウ 団体戦のチーム編成および投球順の変更については、所定の用紙に必要事項を記入の上、監督会議終了までに提出してください。それ以降の変更は認めません。

エ 競技受付は、1階入り口付近にて行います。競技受付時、スコアシートと筆記用具をクリアケースに入れて渡します。各種別・シフト終了後にスコアシートの「正」および筆記用具をクリアケースに入れて、競技受付に設置の「スコア回収所」へ提出してください。

オ 指定レーンに入りましたら、コンピューターに表示されている選手名・投球順・ハンディキャップを確認ください。間違いがあれば、審判員に申し出ください。

カ レーン移動では、ボールバッグを持っての移動はしないでください。ゲーム終了後、記録確認をしてモニター操作をしないで移動して下さい。スタートの合図は行いませんので、移動先レーンに名前が表示されたら、同一ボックスの選手了解のもと順次スタートしてください。

キ 各団体において、選手以外にボウラズエリアに入ることができるのはIDカードをつけた監督1名のみとし、その範囲は自チームの競技しているボウラズエリア内です。ボウリングシューズで入ってください。

ク 予備レーン(1・2レーン)並びに(31・32レーン)横を報道用スペースとしております。フラッシュ撮影以外の報道に対する異議申し立ては受け付けません。

ケ ボウリングボールの表面調整及び表面加工は、競技規則第136条により行ってくだ

さい。競技会場敷地内及びその付帯施設、監督会議場敷地内での持込み研磨機の使用は認められません。尚、競技会場の研磨機使用は、各自で交渉の上行ってください。主管連盟は一切関知致しません。

コ 競技中、ボールを競技会場外へ持ち出す場合には、あらかじめ競技役員へ申告をしてください。

サ 大会期間中、センターの一般営業は致しません。

(3) 審判部

ア JBC 会員証・ボール検査合格証・ボール登録証は、競技中は各選手が必ず携帯してください。

イ 競技中に審判の立会いを必要とする場合は、赤旗を振って合図してください。

ウ 1 投目投球前の明らかなピンの脱落・ピン倒れの場合は、同一ボックスの対戦チームの了解を得てリセットしてください。

エ 投球後のコンピューターのスコアは各自で確認してください。スコア修正が必要な場合には、必ず審判員の立会いを求め、審判員に修正を依頼してください。

オ ハンドタッチは、競技進行の妨げにならない範囲で同一チーム内の選手間に限り認めます。競技進行が著しく遅れている原因が競技者にある場合には、スローボウリング（競技規則第 134 条）適用となります。競技者は、自分の投球順で左右の隣接するレーンがあいてる場合、直ちに投球体勢を取ってください。

カ 競技中の水分補給は蓋付きの飲料とし、ボウラズベンチ後方のカウンターの所で補給して下さい。

(4) 記録部・広報部

ア 記録用紙は 2 枚複写となっています。1 枚目の「正」の用紙が提出用です。

イ 記録用紙の回収は、記入漏れ・計算間違いが無いことを確認の上、3 ゲーム終了後スコアシートの「正」および筆記用具をクリアケースに入れて、競技受付に設置の「スコア回収所」へ提出してください。

ウ 転記ミス・計算ミスのないように注意してください。提出記録とコンピューターの記録が違う場合には、コンピューターの記録を優先します。

エ 転記ミス・計算ミスが判明した場合には、放送による監督の呼び出しは行いません。訂正したスコアシートのコピーを記録速報箱に入れますので、記録ミスについては、監督は、修正内容を競技者に確認させてください。

オ 記録の訂正・異議申し立ては、監督を通じて競技本部に申し出てください。

カ 大会成績は、記録速報箱へ配布いたします。場内放送は原則として行いませんので、各自で確認してください。

キ 大会記録は広報部を通じて、(公財)全日本ボウリング協会、各加盟団体、後援各位、報道機関に発表します。発表内容は、所属団体・チーム名・選手氏名・得点・順位と表彰者の写真です。

(5) 認証部

ア ボール検査合格証の不携帯または未検査のボールを使用する場合は、競技開始前に、ボール検査所にて検査を受けてください。検査料は、1個につき500円です。硬度検査のみの場合は1個につき200円とします。合格したボールには、大会中のみ有効のボール検査合格証を発行します。なお、検査合格したボールも、ボール登録所にて登録を行ってください。この場合、検査料とは別に登録料が必要になります。

イ 競技開始前にボール登録所にて会場へ持ち込んだ全てのボールの登録を行ってください。2個以上のボールを使用する場合は、2個目から1個につき500円の登録料を納めてください。また、5個目より保管手数料として、登録料とは別に1個につき1000円を納めてください。なお、ボールの追加登録は原則として認めません。

個数	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個以上
登録料	0円	500円	1000円	1500円	2000円	2500円	500円ずつUP
保管手数料	0円	0円	0円	0円	1000円	2000円	1000円ずつUP
合計	0円	500円	1000円	1500円	3000円	4500円	1500円ずつUP

ウ ボール登録の進行状況により、A組の選手を優先する場合があります。あらかじめご了承ください。

エ 全参加者の中から無作為に選手を抽出し、ボールの再検査を行います。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボールの再検査を受けてください。対象選手の登録ボール全てを再検査します。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、大会で記録したそれまでの記録は全て無効となりますのでご注意ください。

オ 大会認証報告

- (ア) 競技場名 フジ取手ボウル
- (イ) 公認競技場番号 第108-008号
- (ウ) レーン認証番号 3106-822
- (エ) レーン認証期限 2020年6月20日
- (オ) 大会使用ピン JBC認証 第27号ピン

(6) 褒賞部

ア 褒賞記録が出た場合は、審判員に申し出て褒賞申請書を受け取り、必要事項を記入して審判員に提出してください。

イ 中間表彰と表彰式・閉会式には、表彰対象選手全員が参加してください。